

やる気・やさしさ・根気強さのある子どもを育てる ～あいさつ・返事をする 命を大切にする 感謝する～



南っ子だより

家庭・地域版

文責 長崎市立南長崎小学校 校長 入江寿紀

長崎市教育研究会 社会科部会 研究授業を3年2組で行いました！

6月29日(木)午後から、長崎市の社会科を研究している先生方にお集まりいただき、社会科の研究授業を行いました。市内の多くの学校から40名ほどの先生方に来校いただき、研究授業、授業研究会を行いました。単元は、3年生の社会科、工場で働く人々の仕事の学習で、かまぼこ工場で働く人々の仕事について学習しました。内容は、全10時間の単元の指導計画の中の3時間目、学習問題に対する予想をする場面を参観していただきました。3年2組の子どもたちは、学習態度が素晴らしかったです。もちろん田中先生の指導も素晴らしいです。子どもたちは、学習に真剣に参加するとともに、先生や友達の話をよく聞くことができ、積極的な発言も多く、45分間の授業によく集中していました。参観の先生方からは、子どもたちの学習の様子について多くのお褒めの言葉をいただきました。この後、調べる計画を立て、かまぼこ工場の見学を予定しています。子どもたちにとって、問題解決的な学習の定着は、生きる力を身につけていくうえで必要な力となります。社会科の学習では、問題解決的な学習過程を重視し、「社会的な見方・考え方」を働かせた授業を進めています。

今回の研究授業は、令和6年度に行われます九州小学校社会科研究協議会研究大会長崎大会へ向けての第1回目の会でもありました。大会は、ここ長崎市立南長崎小学校で令和6年11月29日(金)に実施する予定です。これからも授業研究を通して子どもたちに力をつけていきます。



台風等災害に対する非常措置についてのガイドラインについて

雨の日、そして、じめじめとした天気が続いています。保護者、地域の皆様方いかがお過ごしでしょうか。梅雨末期になると思い出されるのは長崎大水害です。昭和57年7月23日のことは今でも鮮明に覚えています。300名近い人々が大雨のため亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

近年、ゲリラ豪雨、線状降水帯などの言葉が当たり前のように聞かれるようになりました。日ごろから、様々な備えをしておきたいものです。本日、保護者の皆様には「台風等災害に対する非常措置についてのガイドラインについて」のプリントをお配りしております。ご確認ください。